

## はじめに

春、暖かい日差しとともに木々が芽吹き始めると、周囲の山から豊富な雪解け水が流れ出し大地を潤します。この地では雪国の風土の中で人々の営みが脈々と続いています。

今、世界的に平均気温の上昇や、雪氷の融解による海面水位の上昇が見られており、このまま地球温暖化が進行すると、生態系の変化や異常気象の発生、農作物の収量低下、人間への健康被害など、私たちの暮らしに影響を及ぼす問題にもつながると考えられています。

そのような中、2015年12月には、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減に、全ての国が取り組むこととする「パリ協定」が採択されました。日本は2030年度までに2013年度比26%の排出量の削減目標を国際公約として掲げており、その実現のためには、一人ひとりがこの問題に向き合い、行動することが求められます。

今回策定した「上越市地球温暖化対策実行計画」では、市民、事業者、行政が温暖化対策を進めていく上で担う役割と方策を具体的に示し、当市がこれまで率先して取り組んできた省エネルギーの推進や廃棄物減量化による資源循環型社会の推進とあわせ、再生可能エネルギーの導入推進により、温室効果ガスの排出量削減を進めることとしています。

市といたしましては、行政運営における率先した取組はもとより、市民、事業者の皆様の主体的な取組に対しましても最大限の支援に努めてまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたりご意見をいただきました環境政策審議会地球温暖化防止部会の委員の皆様をはじめ、ご協力をいただいた多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

上越市長 村山秀幸



## I 計画策定の背景

第1章 計画策定の背景	1
1 地球温暖化とその影響	1
2 国際社会における対策動向	5
3 国・県の対策動向	6
4 当市のこれまでの対策動向	8
第2章 計画の目的と位置付け	11
1 目的	11
2 位置付け	11
第3章 計画の基本的事項	12
1 区域施策編	12
2 事務事業編	16
3 本計画における施策の考え方	17



## II 区域施策編

第1章 市の現状	19
1 自然的条件	19
2 社会的条件	20
3 当市における地球温暖化対策の取組状況	24
第2章 市域における温室効果ガス排出量の現況と要因分析	25
1 ガス別排出量の推移と要因分析	25
2 部門別排出量の推移と要因分析	27
3 排出起源別排出量の推移と要因分析	33
4 温室効果ガス排出量削減に向けた課題	36
第3章 温室効果ガス排出量の将来推計	39
1 温室効果ガス排出量の将来推計	39
2 温室効果ガス削減目標	41
第4章 温室効果ガス削減に向けた取組	43
1 施策体系	43
2 各主体の具体的な取組項目	45



## Ⅲ 事務事業編

第1章 第一次計画の取組結果	59
第2章 温室効果ガス排出量の現況と要因分析	61
1 ガス別排出量の推移と要因分析	61
2 排出起源別排出量の推移と要因分析	62
3 二酸化炭素排出量の推移と要因分析	63
4 温室効果ガス排出量削減に向けた課題	67
第3章 温室効果ガス排出量の将来推計	68
1 温室効果ガス排出量の将来推計	68
2 温室効果ガス削減目標	69
第4章 目標達成に向けた具体的な取組項目	71
1 取組項目	71
2 具体的な行動計画	73



## Ⅳ 計画の推進に向けて

第1章 実施スケジュール及び計画の推進体制	79
1 区域施策編	79
2 事務事業編	82
第2章 進行管理等	83
1 進行管理	83
2 結果の公表	83

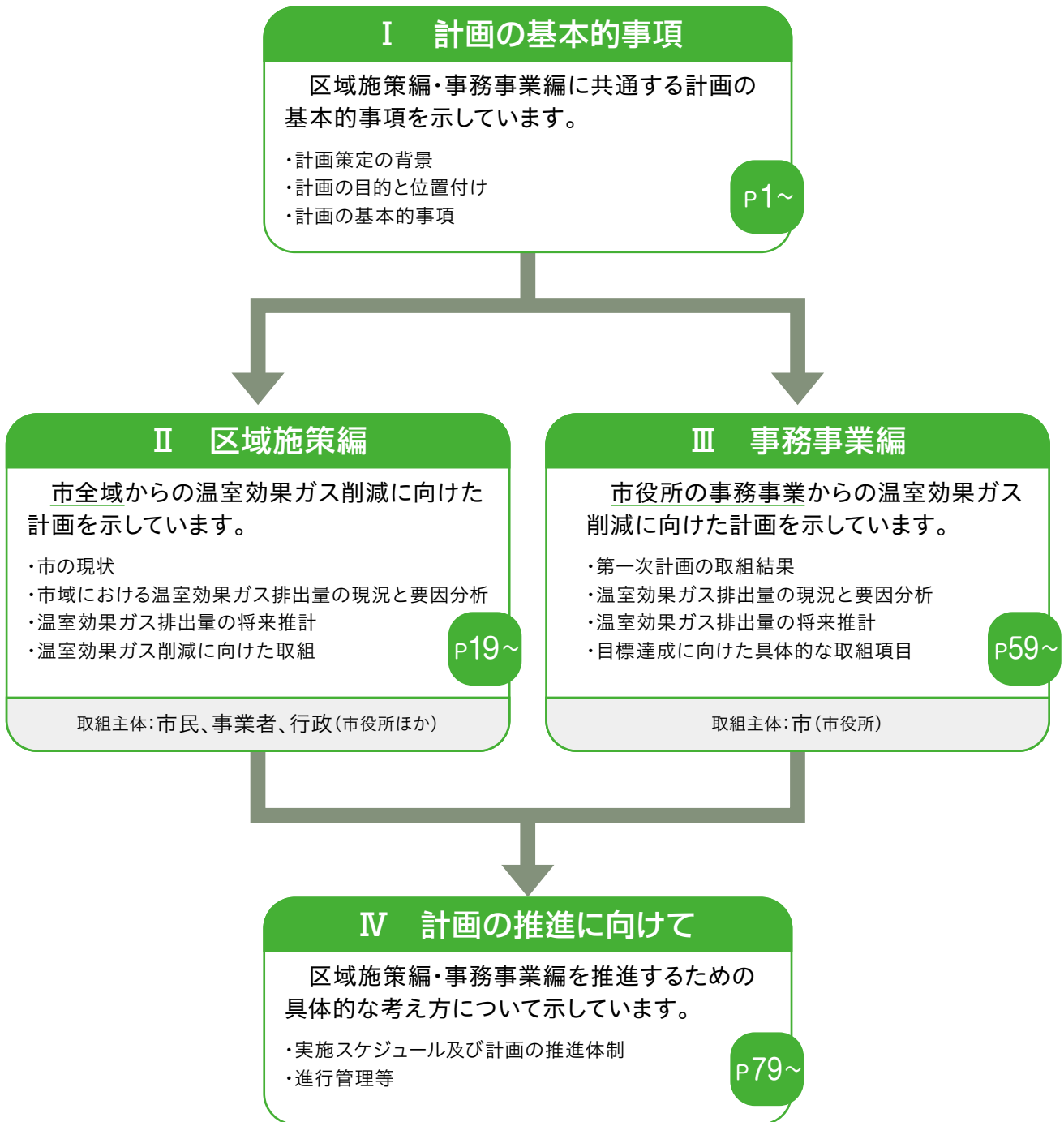


## 資料編

※本計画で取り扱う数値は端数処理をしているため、同一数値でも表示が不一致となったり、合計が不一致となる値がある。

## 計画の構成について

上越市地球温暖化対策実行計画(以下「本計画」)は、対象とする範囲別に区域施策編と事務事業編に区分けして記載しており、双方に共通する事項(計画の基本的事項と推進体制)については、一つの部に取りまとめています。計画は4部構成になっており、各部の構成は以下のとおりです。



### 計画の構成